

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン
2025年度総会議事録

1. 日 時 : 2025年3月29日(土) 18:30~19:57

2. 場 所 : 名古屋市国際展示場 交流センター 第6会議室

3. 出席者 : 総社員数 28名

- (1) 出席者 27名(委任状提出者含む) 出席者のうち、理事10名、監事1名
大橋健、水野勝教、今井俊二、中島晃芳、島谷太、森重智年、野村
泰朗、松山森仁、政岡恵太郎、瀧本英智、田中宏明、松原仁、高橋
忠、富永一利、玉水亘、杉浦明仁、後藤修平、藤井晴基、山田吉孝、
山野真一、栗田稔、丹羽尚子、竹内龍一、名倉豊人、宮下充、
白山太一、梅田寛康
- (2) 欠席者 1名 武藤美和
- (3) 議事録作成者 : 大橋健

4. 議題

1. 2024年度事業報告(案)、収支決算報告(案)
2. 2025年度予算(案)
3. 理事改選
4. Webサイトリニューアルについて
5. 定款の変更
6. その他
7. 議事録署名人の選定

5. 資料

- 資料1-1. 2024年度事業報告書(案)
資料1-2. 2024年度収支決算報告(案)
資料2. 2025年度予算(案)
資料3-1 役員名簿(案)
資料3-2 プロフィール
資料4-1 RCJJ Webサイトリニューアル提案依頼書
資料4-2 RCJJ Webサイトリニューアル企画提案審査方法説明書
資料4-3 RCJJ Webページ刷新に関する提案書 kemarin-tech
資料4-4 RCJJ Webサイトリニューアル企画提案公募、及び、審査報告書
資料5. 理事会議事録署名要件にかかる定款変更案

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①司会進行の水野理事より、定款第18条に規定する定足数を満たしたことを確認したのち、定款21条に基づき、議長の選出を求めたところ、正会員から大橋理事を推薦する提案があり、満場一致で大橋理事を議長に指名し、大橋理事はこれを承諾した。

(2) 2024年度事業報告(案)、収支決算報告(案)について

①島谷理事より、資料1-1、資料1-2に基づき2024年度事業報告、及び収支決算報告がなされ、満場一致で承認がなされた。田中監事より、2024年度事業報告書、及び収支決算書を監査した結果、いずれも適正かつ正確であったとの報告がなされた。

(3) 2025年度予算(案)

①島谷理事より、資料2に基づき2025年度事業予算案について説明がなされた。2024年度予算で計上したが執行されなかった公式HPの製作費にフィールド改修費を加えた150万円

を予備費として計上したとの説明がなされた。宮下氏より、会員数が減少したことについて、会費も大事な収入の一部であるが、会員数を増やすための何か対策はしているのか。また、全ブロック長が会員になるよう働きかけるべきではないかとの意見がなされた。大橋理事より、特に対策はとっておらず、ブロック活動が停滞している地域があることは認識しており、理事会で今後検討したいとの回答がなされた。議長より、議事2について議場に諮ったところ、満場一致で承認がなされた。

(4) 理事改選

①大橋理事は、中島晃芳理事が本総会の終結と同時に任期満了し、退任することになり、また、中島理事から後任として梅田寛康氏の推薦があったとの説明がなされた。理事会は、資料3-2のプロフィールにもある通り、梅田氏はOnStageを中心に技術委員として大会運営にも従事しており、新理事として適任と判断した。宮下氏より、現理事9名のプロフィールが資料にないのは何故かとの質問がなされた。大橋理事より、前回の理事改選時は、理事立候補者が規定の10名を超えていたため、プロフィールを用意したが、今回は規定内であったため、新たな理事候補者のプロフィールのみ用意したとの説明がなされた。宮下氏より、大橋理事と水野理事に対し、どのようなヴィジョンをもっているのか、どのような層にどんなアピールをしたいのかとの質問がなされた。大橋理事より、前年までは、コロナ禍前のような通常開催をすることが目標であったため、今後のヴィジョンを作れていなかった。HPを刷新し、今後はジュニアのヴィジョンについても広く広報したいとの回答がなされた。水野理事より、ジャパンオープンを開催することに注力しており、今年までは名古屋市で開催できたが、来年は立候補する開催地がない。コロナ禍以降、多くの予算をかけて大会を開催してくれる自治体がないのが現状である。ジュニアのアピールとしては、元選手であった人が、今は理事として活躍しており、他にも社会で活躍している人は大勢いると思うので、それをうまくアピールしていきたい。また、ジュニアジャパンを盛り上げていくためには、会員数を増やす努力もしていかなければならないとの回答がなされた。

議長が、現理事9名（大橋健氏、水野勝教氏、今井俊二、島谷太氏、森重智年氏、野村泰朗氏、松山森仁氏、政岡恵太郎氏、瀧本英智氏）の重任と梅田寛康氏の新理事就任の可否を議場に諮ったところ、満場一致で承認がなされた。なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

(5) Webサイトリニューアルについて

①今井理事より、Webサイトをリニューアルするにあたり、資料4-1を基に公式HPにて企画提案を公募した結果、応募件数はkamarin-tech政岡恵太郎氏（RCJJ理事）1件であった。また、資料4-2に基づき審査をした結果、Kamarin-tech社を発注先として適格と評価したとの経緯を説明した。中島理事より、完成後のメンテナンスについて質問がなされた。今井理事より、要件定義については両社協議のうえ行い、ホスティングサーバーは現行のさくらインターネットを引き続き使用するとの回答がなされた。梅田氏より、Instagramから情報を得る人も多いが、SNSとの連携についてどう考えているかとの質問がなされた。名倉氏より、新規の方がロボカップジュニアを見つけ、始める切っ掛けとなるようなHPを作成して欲しいとの要望がなされた。大橋理事より、今回のリニューアルは、現役選手、新規参加者、スポンサーのいずれの人も情報を取得しやすいデザインへの変更がメインとなっている。要望はたくさんあると思うが、財源に限りがあるため段階的に進めるとの回答がなされた。議長より、発注先および発注額について議場に諮ったところ、満場一致で承認がなされた。

(6) 定款の変更

①瀧本理事より、2023年度の総会で、会員から理事会議事録の署名要件について、一社法の記述にそぐわない部分があるとの指摘を受け、定款第5章第34を以下の通り変更するとの提案がなされた。なお、2023年度総会以降、議事録の記名押印は変更案のとおり実施しているとの説明がなされた。

現状：理事会の議事内容は、法令で定めるところにより、議事録を作成する。なお、出席した理事の中から2名の理事が署名、捺印するものとする。

変更案：理事会の議事内容は、法令で定めるところにより、議事録を作成する。なお、出席した理事および監事が署名、または記名押印するものとする。

議長より、議事5について議場に諮ったところ、満場一致で承認がなされた。

(7)その他

①宮下氏より、あるチームのメンターがレスキューの運営スタッフとして活動していたが、選手はサッカーにエントリーしていたため、サッカー技術委員会から1チーム1スタッフを出していないとの連絡を受けた。関東ブロックでは、メンターに限らずOB、OGに声を掛け運営に参加してもらっているので、エントリーしたリーグに限定せず、全リーグを通したスタッフの起用を検討してはどうかとの提案がなされた。これに対しサッカー担当の松山理事より、競技指針には1チームにつき1人以上の協力をお願いしているが難しく、またブロックへメールでお願いをしたが効果がなかったため、各チームが何人スタッフを出しているかを公表し、チームへ直接お願いすることとなった。このような経緯から、他のリーグにスタッフとして活動をしている事を知らず、メールを送ってしまったのは配慮不足であったと述べた。

②宮下氏より、交流会について、理事会議事録には事前の開催連絡を行うとの記載があったが、案内が直前になってSlackにあげられていたが、どういうことかとの質問がなされた。野村理事より、開催内容について直前まで技術委員会と検討していたため、案内が遅れてしまった。交流会の開催日変更も含めて、今後検討するとの回答がなされた。水野理事より、技術交流会は各リーグですで行われているが、全リーグによる交流会または技術交流会は必要か意見を求めた。野村理事より、世界大会の様子、全体の交流、エントリーリーグ、他リーグの情報も伝えたいとの意見がなされた。中島理事より、技術か、人の交流かのどちらかに絞る必要があるのではないかと。技術の交流は各リーグで行い、ジュニアパーティのような名刺の交換や、楽しい人との交流会がいいのではないかと意見がなされた。名倉氏より、他リーグのロボットにも興味があり、視野を広げるためにもリーグを超えた技術交流があればいいとの意見がなされた。竹内氏より、サッカーのメンター経験はあるが、阪神ブロックではシミュレーションが中心のため、他リーグの事や各ブロック長がどのような活動をしているか分からないとの意見がなされた。山野氏より、ジャパンオープンでは選手もメンターも競技に集中しているため、他リーグとの技術交流の時間を持つのは難しい。広島ブロックでは、オープン大会等で他ブロックとの交流を行っているとの意見がなされた。白山氏より、2～3年前まで選手として活動していたが、名刺交換の文化を知りませんし、選手は競技に集中しているので周りとのコミュニケーションをとらない人も多いのではないかと意見がなされた。山野氏より、大阪や沼津大会では交流会にメンターが参加できて良かったとの意見がなされた。

③大橋理事より、今年のブラジル世界大会は、安全面を考慮しJTBに企画ツアーを依頼した。選手だけでなく日本委員会、ボランティアスタッフ、メジャーからも希望があれば参加が可能である。明日の閉会式後にJTBから説明会があるので、興味がある方はご参加ください。なお、企画ツアー契約の特性上、旅行代金はロボカップジュニアで受け付けるが、収益事業ではなく旅行代金は預り金として、全額JTBへ渡すとの説明がなされた。

④水野理事より、2月の理事会までに2026年ジャパンオープンの開催候補地の立候補はありませんでしたが、愛知県内の大学での開催を協議中との報告がなされた。

(8)署名人について

①閉会にあたって議長から、本日の議事録署名人として、山田吉孝氏、及び宮下充氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2025年3月29日

議長 大橋 健

議事録署名人 山田 吉孝

同 宮下 充